

西脇市学校部活動地域移行検討会議の記録

会議等の名称	第1回西脇市学校部活動地域移行検討会議
開催日時	令和6年7月1日(月) 午後7時00分～午後8時50分
開催場所	西脇市役所大会議室(3階)
出席委員の氏名又は人数	15人
欠席委員の氏名又は人数	0人
出席職員の職・氏名又は人数	9人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	4人
議題又は協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・西脇市学校部活動地域移行検討会議開催要領について ・委員長及び副委員長の選出について ・国や市における学校部活動の地域移行等の動きについて ・意見交換
会議の記録(概要)	
発言者	
事務局	<p>《開催要領説明》</p> <p>この検討会議は意見をいただく場であり、決定については教育委員会で行う。</p>
事務局	<p>《委員長、副委員長選出》</p> <p>委員長に森田啓之委員、副委員長に新保安章委員にお世話になりたい。</p> <p>(了承)</p>
委員	<p>《意見交換》</p> <p>小学生対象のジュニアバレーを指導している。中学生の指導もしていくとなると大変なことになる。スポーツ協会で中学生の指導の話をしたが、協会で受け入れてもらえるのか、すごく難しい話だと思う。</p> <p>熱い指導者がどんどん出てくることを期待する。</p>

委員	<p>困窮家庭であるとか、送迎ができないとか、そういうことは関係なく誰もが活動ができるというのが部活動だったのではないか。受益者負担となれば、活動できない子どもが出てこないか心配している。</p> <p>部活動に入部せずに、野球やサッカーのクラブチームに月謝を払い、親が送迎するなど、そういう子どもしか活動できないのか。そういう強いチームには行かないけれど、学校で野球やサッカーができる環境を何とか整えられないかと思った。</p> <p>部活動指導員として、ぜひやろうという教師も何人かいると思う。クラブチームへの移行、地区への移行ではなく、やはり部活動の地域移行という何か新たな道が見つけられるのかなと思う。</p>
委員	<p>部活動指導員として実際に活動している。予定表等をいただくが、実際にはいろいろな行事で開始時間がコロコロと変わる。普通は4時から6時までとなっているが、「今日は1時」「今日は3時から」と、いろいろな開始時間になる。学校行事をある程度きちんと調整していかないと、外部指導員は入りにくい。仕事を持っている方は、行きたくても行けない。平日の活動において、かなりの問題点だと思う。</p>
委員	<p>すごく戸惑うことばかり。中学3年間の子どもの成長というのは、小学校の時とは大きく違って、精神的にも肉体的にも成長する大事な3年間である。</p> <p>部活動で助けられることもあった。部活動の教師が好きだから頑張れることもあった。学校で認められることが、どれだけ素晴らしいか。救われる子どもたちはたくさんあったと思う。教師が、専門分野でないところでも一生懸命に勉強しながら教えてくれたということも、私にはわかる。</p> <p>地域の方に移行して、指導者が違ったら指導も変わってくる。そこを、どうやって連携していくのか。</p> <p>地域の方が学校教育の中に、どれだけの責任をもって入っていけるのか、もう本当に慎重に考えないと、子どもたちが犠牲になると思う。子どもたちに対しての何が正解なのかということ、ここで大人たちは、もう本当に真摯に考えないと、間違った方向にいけば、大変である。子どもたちが可哀そうだと思う。</p>
委員長	<p>今のところを、どういうふう理解し合って、前を</p>

委員

向くかというのが一番のポイントである。本当に、学校の教師にとっては、これまでの部活動の成果を、すごく積極的に紹介いただいたし、エールを送っていただき、すごく嬉しかった。

今回の問題点は、アスリートを目指すのか、アマチュアの中でどんな選手育成をしていくのか、どこでどんな体験をしていくのかということだと思う。クラブチームには行かなくても、上を目指すのではなくスポーツに親しんでいくという子どもたちをどうやって今後は支えていくのか、そこに教師が入るのか、地域の方が入るのかということの問題であると思う。

最終のゴールは、従前からの部活動がやってきたことと同じようなことをする地域クラブを作ることなのか。中体連の大会にチャレンジをする地域クラブを作るには、かなりハードルが高い。地域クラブの目指すべきところの設定をすることが、子どもたちにも地域の方にも学校現場の教師にも分かりやすい説明に繋がると思う。

地域に人材が不在であれば、子どもたちは報われないし、教師が転勤で変わっても、前の教師と新しい教師の指導が違うという課題は変わっていないと思う。

委員

楽しい部活動がいいと必ず子どもたちは言う。何が楽しいのか聞くと、「上の大会に行ったら絶対に楽しい。上手くなっている」と。集まって、ゴチャゴチャとすることも楽しんでいると思うが、吹奏楽を頑張る気持ち、しんどいことと折り合いをつけながら、それでも続けたいと思える部活動が無くなれば嫌である。

教師は間違いなく負担である。私は部活動をやりたくてやっているのに、負担と言われようともやるが、専門外を任された教師のストレスは、ものすごい。

西脇市の吹奏楽がどうしたら上手くいくかと考えたら、4校合同でも良いかなと思う。4校合同でやる時の場所、楽器の管理などを考えたら、オリナスホールの使用はどうか。午後3時から午後6時までホールで活動するとか、毎週土曜日には、必ず子どもたちのために空けてもらうとか。小さい楽器は書面で契約を交わして、各家庭に持ち帰って保管することはできるが、大きな楽器だけは、どうしても一か所に集めて、その場所で保管する必要がある。オリナスホール脇の

委員	<p>駐車場 3 台分ぐらいのスペースに楽器を保管できる場所を設置できないか。</p> <p>平日の活動は、難しいと思うが、4 校合同でやっていけるのなら、それもお互いの知恵を出し合いながら、できなくもないと思っている。</p> <p>地域の方と教師のどちらが主で指導するかは、その部によると思うが、分断することは、なかなか難しいと思う。</p> <p>教師が疲れていることは現実である。だから部活動顧問は、複数配置して交代で入るとか、いろいろ考えなければならない。部活動で苦しんでいる教師、反対に部活動で助けられている生徒もいっぱいいる。</p> <p>子どもの夢や希望をどう実現していくのか、地域の方の知恵を借りながら次に進んでいかなければならない。どう持続可能なことを考えていくか。目の前の子どもたちが少しでも幸せになるために、どういう形でお手伝いができるのか。</p> <p>学校が終わった後に、子どもたちがいろんな事をできる機会を残してあげたいと思う。</p>
委員	<p>私はたまたま音楽指導者をやってきた。全国大会に行くとか、県に行くとか、そういった目標を持ってやることも大切なのかも知れないが、中学校に入ってから始める子がほとんど。そういう子たちが中学校 3 年間で、もう本当に、成長していくのが見える。そういうところを作ってあげたい。</p> <p>どこかに活動できる場所を作ってくれるのであれば、私たち西脇市吹奏楽団も協力できるところは一緒にさせてもらえたら、とも考える。</p> <p>楽器はすごく高価で大変。だから、例えば物を大切にするという思いや、自分らが卒業して次の後輩たちがまだ使えるようにするためにはどうしたらいいのかということも教えてあげられる場所だと思う。いろんな子どもたちに、いろんな機会や、いろんな場を残し、提供できるところになればいいなと思う。</p>
委員	<p>私は現在、3～5 歳児、それから上は中学生までプライベートで絵画を教えている。小学 6 年生までは、親が習いに行っておいでとか、子どもも面白いところがあって行っているところもあると思うが、中学生からはなかなか、勉強や他の部活動があって、絵</p>

委員

を描いていない子が非常に多いように思う。

西脇市には子ども芸術祭がある。他の市町村ではないこと。中学生以下が対象で、未就学児も出展する。ただ、中学生でも絵を描くのかというと、そうもいかない。教える者にとっては絵を描いてほしい。

多様化の時代に、保護者対応が増えている中で、教師には本当に負担を強いている現状があると思う。

親の負担というところで、クラブチームと部活動の住み分けが、重要になってくると思っている。今後、地域移行していかないといけない現状があると思うが、思春期でアイデンティティの形成として、その子たちが親の元を離れて、その子たちの世界ができ、そこでその子たちがどうやって発達していけるのか、大切な時期だと思う。

それを、やはり学校で、教師の中で、教育ということが分かり、育てていただける方が指導者になるなら、子どもを預ける意味があると思う。教育が分かっている人に指導していただきたい。

ただ上手になったり、プロになりたかったりするならクラブチームに入ればよいと思う。子どもには、いろいろな世界を見てほしいので、部活動を大切に思っており、いろいろな可能性があるからこそ、部活動に入るのが一番のメリットだと思うので、そこは無くしてほしくはない。

まずは部活動がどのような形で地域移行し、その部活動の意味と、地域移行していく形の意味を最初に限定した上で具体的な話をした方がスムーズに進むのではないか。

本当にスペシャリストになりたい家庭は、最初からそういうチームに入ると思う。友達とやりたかったということで部活動に入るとい、子どもの可能性をつぶさない運営をお願いしたい。

委員

強くしようと指導すると、どうしても熱が入る。熱が入りすぎて、コンと手が出たら、昔と違ってすぐにニュースに取り上げられる。指導も難しいと思う。

もっと子どもに自由にクラブ選択ができるようになったらと思う。アメリカ式のいろいろな部活動を経験する方法の方が良いのではないかと思う。

委員

私のパートナーもずっと部活動をする人だったの

	<p>で、ずっと家にいなくて、部活動漬けの時間だったように思う。私自身もスポーツをしていたので、それを何となく応援できた立場だったと今は思っているが、私の子どもたちはどうだったかと思ったりもする。</p> <p>思春期である中学校での3年間は子どもたちにとって、とても有意義な時間であることは、間違いない。</p> <p>委員から、上を目指す子どもたちを応援するのも大人の仕事や役割だろうと言われた。自分たちもそういう大人になりたいと思った。また他の委員からは、いつでも誰でも、そこでスポーツがやりたいときに、できる環境が西脇市にあったらいいと言われたことも、心に残っている。</p> <p>たくさんの今の中学生だけではなくて、今から産まれる子も含めて、私たちが検討する時間が有意義になってくれたら嬉しい。</p>
委員	<p>熱い思いをいろいろと発言されるこのような指導者を、あてにしすぎではないか。教師がそのまま入っていても、しばらくはそれでもやっていけるだろうが、若い教師は、いろいろな事情の中で、家庭も大事にしたいとか、部活動を持ちたくないなどで、指導者が少なくなっていく。</p>
委員長	<p>学校に頼りすぎているような地域移行をしてしまうと、後が続かなくなる。いろいろな人が入りやすい条件も考えていくべきだとか、逆の意見を持つ人も、もう少し入っても良いのではないかと考える。</p>
	<p>やはりこの日本で部活動を中心に、青少年のスポーツや文化活動をやってきたことを、どう評価するか。光の部分が多いが、陰の部分もたくさんある。次に向かうためには、その陰の部分が出ないように、理想的なことがどうなのかという議論ができればいい。</p>
事務局	<p>《今後の予定》</p> <p>次回9月10日(火)19時、この会場で予定する。今日の検討会議だけではなく、それぞれ専門的に課題について討論いただくような部会も開催したい。</p>
問合せ先	生涯学習課（内線 4050）